

5/20
(金)

子どもたちへアジフライを寄贈 株式会社三陽（長谷幸一郎代表取締役社長）



▲久保川洋平部長（左）、高橋利明副社長（右）

株式会社三陽は、市内の小・中学校 16 校、幼稚園・保育園（所）15 箇所へ合計約 4,000 枚のアジフライを寄贈。

この寄贈は地域貢献の一環で、入学・入園・進級された子どもたちへのお祝いとして、アジフライデー（毎月第 3 金曜日）に同施設の給食として提供されました。

同社はアジフライの他、さまざまな魚種の加工を行われており、これらの商品を通して地域から全国へ向け魚食普及を図られています。

5/18
(水)

会員みんなで奉仕作業

松浦ロータリークラブ（角田良夫会長）



会員ら 19 人で松浦中央公園と国際ロータリー設立 100 周年記念碑（志佐町内）周辺を約 1 時間かけて清掃されました。

同会は、地域奉仕活動の一環として、毎年市内の清掃活動を実施されています。

参加した会員は「快晴の中、気持ちよく清掃活動が実施できた。活動を通して、市民の皆さんに同会のことを知ってもらえたら嬉しい」と話しました。

ま
ち
の
話
題

5/24
(火)

グラウンド・ゴルフで爽やかな汗



第 17 回松浦市老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会（同会主催、郵便局長協会共催）が福島総合運動公園で開催されました。

この大会は、グラウンド・ゴルフを通じて会員相互の親睦と健康増進を図ることを目的に毎年開催されています。この日は約 170 人が参加し、熱戦を繰り広げました。

上位の結果は次のとおりです（敬称略）

【男子】①内田義信②富野通左③末永章

【女子】①山本美知枝②瀬川洋子③石川栄子

5/23
(月)

体もまちも美しく



松浦市老人福祉センターの利用者が、市役所北玄関付近の清掃活動を行いました。

コロナ禍で、室内でのレクリエーションが減り、体を動かす機会が減った利用者の軽い運動やいい気分転換になればと企画されたこの活動には、同日の利用者のうち 11 人が参加し、1 時間程度清掃活動に汗を流しました。

参加者は「市役所も綺麗になり、良い運動になった。みんなと活動が出来て嬉しかった」と話しました。

5/30
(月)

特産品の豊漁を願って

新松浦漁業協同組合（渡邊勝美組合長）



くるまえびの稚えびの池入れが同組合の福島くるまえび養殖場で行われました。

組合職員や組合員約10人で作業が行われ、1.5～2cm程の稚えび90万尾が元気に養殖池の中へ泳いでいきました。

放流されたえびは3カ月半で12～13cmの大きさとなり、9月中旬ごろの出荷を予定されています。徳田勝成養殖場長は、「昨年は市況も安定していた。今年も無事に育てくれば」と話しました。

5/25
(水)

美味しい新茶が出来ました

JANAがさき西海松浦茶業部会（井手眞悟部会長）



市役所で新茶の贈呈、試飲が行われました。市内では、14戸6工場でお茶が生産されており、嬉野市向けとして出荷されるほか、工場それぞれでオリジナルのお茶を作られています。

今年のお茶は県内全体で1割ほど生産量が減少したものの、春先は暖かい状況が続き品質は良好とのことです。

当日は水出しと急須で新茶が振舞われ、清々しい香りと、さわやかな旨味が口いっぱい広がる最高の仕上がりとなっていました。

まちの話題

6/9
(木)

ニセ電話詐欺に要注意！！

長崎県警察松浦警察署（船津博之署長）



長崎県警では、6/6～10日間を「ニセ電話詐欺根絶旬間」と定め、その被害を未然に防止するため、市と合同で生鮮市場ハイマート松浦店駐車場付近で詐欺への注意を呼びかけました。

市内においても詐欺被害が複数件発生しており、その手口も多岐に及び巧妙になってきていることから、周知活動により、市内・県内においてニセ電話詐欺の被害がなくなることを期待し、今回の啓発物品等の配布が行われました。

6/7
(火)

みんなでたくさん遊んでね

子育てクラブ「プチトマト」（峯元宏美会長）



児童館を利用する子どもたちへ竹馬2セット、人生ゲーム、ピンポン玉などを寄贈しました。

同団体は、未就学児の家族を中心に子育てイベントなどを開催。親子や地域の子育て家族間の交流を支援してきました。

しかし、保育料の無償化や共働き世代の増加に伴い会員数が減少したことで活動が難しくなり、令和3年度をもって解散。活動費を使い、子どもたちが楽しめるおもちゃを送りました。